



5月頃から産卵のため接岸してくるゴマサバ、このサバも真子を抱えていた

このサバはゴマサバで、力強く、沖に走ってても磯際でもしつこく引っぱり回します。まるでヒラマサみたいなに瀬伝いに走り回って最高のファイトを見せてくれます。朝早くから、本命のサバが来

き、バックンと竿、タモ網だけ持つて表側に移動。いつものこの瀬はこんな感じではないです（念のため）。また釣り座も下に降りれた

パット見た感じ右沖に行っているようですが、底潮はまだ動いていない感じ。まだ潮が止まっているようです。今日の潮は干潮が6時過ぎで、満潮が昼の12時頃で今はちょうど潮止まりになります。2投目、潮目が少しずつつきりして来て、右沖に行き始めたので、ジントン5号をハリスに均等打ちして、サラシの沖に仕掛けを遠投して潮目伝いに流すと、竿先を引っ張るアタリ、サバです。狙

ふかせスペシャルを各1袋ずつを準備し、これを2回に分けて作ります。狙う魚が、サバ・イサキ・クロの予定なので、オキアミはあまり潰さずに原形のままを撒きたいのと、でも遠投も出来るぐらいの粘りは出したいのを考えて、オキアミ1角半の半分を潰して、残りの半分の半分を潰して、残りの半分をほぼ原形という感じで混ぜ

込んで行きます。それと、海水は通常より多めで上げ潮の本流にきっちり馴染ませるのと、浮き上がり防止するためにオキアミと配合エサに海水を吸わせておきます。

り、この日のロクゴ瀬の周りはサランだらけで、真ん中の水溜りの左と右はウネリが這い上がって来てちよっと危険。唯一、船付けのすぐ上の高台に荷物を置

今回の使用仕掛け

ロッド：がま磯 アルデナ1.25号-5.3m
道 糸：サンラインブラックストリーム
マークX 1.75号

ウキ止め
半円シモリ
ウキ：ゼクト(L-2B)
ウキクッションTタイプ
2B(ウキの浮力表示オモリ)
極小サルカン
G3・G2・B(タナ調整用)
均等打ち
G4・G5・G6(ハリスの絡み防止用)
ハリス：サンラインブラックストリーム1.75～2号2.5ヒロ
G4・G5・G6
(ハリスの浮き上がり防止用)
ハリ：がまかつ
競技フカセ5～6号

※ハリスに打つジントンは、潮が強い時は4号、潮がトロくなった時は6号を使用
※本流釣り場ではハリスには小さいジントンでいいので、打った方が馴染ませやすい



使用ウキは釣研のゼクト。遠投したい時はL、風がない時はM、喰い込み重視の時や遠投したい時にαを使用。B～5Bはウキ止めがウキのボトムまで入ってウキが入る時のふらつきが少ない



愛用するハリスはサンラインのブラックストリーム。しなやかで強く、振りもあり、本流釣りから波静かな釣り場まで、オールラウンドに使える！

梅雨の磯は…おさかな祭りだ！ワッショイショイ!!

釣行前日、マルキユーのM1カップグレの北浦予選がウネリによるシケで中止になり、急きょどこかに行こうということになり、同行する下田氏に、「どこに行きたい？」とたずねると、「イサキとクロが釣りたい」とのこと。私は、「サバが釣りたい」。「だったら間泊にでも行こうか、でも太平洋側は明日は南東の風で厳しいかもよ…」取りあえず船長に電話をしてダメだったらまた考えようか！」などのやり取りをした後、間泊の若吉さんに連絡を入れてみると、

朝方、港で船長を待っていると、沖の方からゴオーゴオーと波の音が…。少し明るくなってから高台から沖を見てみると海面は真っ白け…。思ったより波があり力強さがあり、ちよっとビビります…。他のお客さんは断ったらしく、私たち2人だけで出港。今回上がる予定のロクゴ瀬は、間泊の港を右(大泊方面)に出て一番沖にある離れ瀬(港から3分程)で潮通しが

間泊『ロクゴ瀬』

写真・文 野間 辰美

案の定、「ウネリが大きいのが来るかも。それでも行きます?」、「ロクゴだったから高さがあるからいけないですか?」とたずねると、「ロクゴなら行けるかも」とのこと。で決定。「でもウネリには気を付けて下さいね!」と念を押され、少し心配ですが、久しぶりの間泊釣行、私の好きな「ロクゴ瀬」でウキウキドキドキ…。

今回のマキエ

無事に瀬上がり済み、早速マキエ作り。用意したのはオキアミ生3を3角と私のお気に入り、マルキユーのグレパワーVSPとグレパワーV10SP、そして遠投



筆者の最近お気に入りの配合エサ、グレパワーVSP、グレパワーV10SP、遠投ふかせスペシャル(全てマルキユー)を各1袋ずつ使用した

よく魚影も濃い場所、特に上げ潮は左から右に本流がいい感じで流れます。下げ潮は右沖に荒崎の岬が出ているため本流とはならないですが、沖に引かれる潮や右から左に北上する潮に乗せて釣るといい魚が期待出来る瀬です。

ロクゴ瀬での当日の状況

